

令和5年度 学校経営計画書

学校番号	31	学校名	静岡県立清水東高等学校	校長名	寺島 明彦
------	----	-----	-------------	-----	-------

1 スクール・ミッション

普通科と県内で初めて設置された理数科を併設する文武両道を目指す学校として、文理の枠にとらわれず、SSH 活動で培われる科学的思考力や探究心を養う教育を通して、国内外で活躍し、社会にイノベーションを起こすリーダー人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
科学的思考力や探究心を養う教育を通して、国内外で活躍し、社会にイノベーションを起こすリーダー人材を育成する。	SSH 活動を軸に、論理的・科学的・探究的な学びと活動を通して、生徒の自己実現の道筋を明確化させる。	校訓「金剛の意志」の実現に向け、探究活動に積極的に取り組み、グローバルなコミュニケーション力を伸ばし、地域や国際社会での活躍を目指す生徒を求める。

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 安心安全な学校を作る。
- イ 創立100周年の記念行事を円滑に実施する。
- ウ 制服について検討を進める。
- エ ICT教育の推進と情報発信
- オ 授業力向上と新学習指導要領に対応した授業を行う。
- カ SSH活動の深化・充実
- キ 健康でたくましい心身を育成する。
- ク イノベーションハイスクールとして探究活動を通して進路意識の明確化
- ケ 社会のリーダーとして活躍できる人材を育成する。
- コ ワーク・ライフバランスの推進
- サ 確実に効果的な学校事務執行を推進する。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	いじめの根絶	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止対策基本方針に基づく取組を実施 ・スマートフォン等の使い方の指導の充実、スマートフォン講座の実施 ・いじめアンケートを年2回実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめに対するトラブルの事前防止 ・いじめへの対処の確実な実施 ・ネットに関係するトラブル：0件 ・「誰に対しても相手の気持ちを大切に接している」と答える生徒の割合：95% 	生徒

様式第1号

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
	授業中、部活動中、登下校中(特に自転車)の事故防止	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に使用する設備等の環境整備を進める。 ・保護者と連携した登校指導の実施 ・警察と連携し、新入生に対して交通安全教室を実施 ・突発的 사고を想定した講習の実施 ・特に体育授業や行事において、熱中症防止のため、随時水分補給等の対策を各自が取れるよう配慮する。 ・保健だよりの安全の呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の事故0件 ・登下校時の自転車事故件数2割減 ・職員対象のAED講習会の実施 ・校内活動中に熱中症重症者を出さない。 ・保健だよりの毎月発行 	生徒 教務 保健
	防災対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉メールの防災としての活用。家庭と連携して防災意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉メールによる防災連絡（緊急連絡）訓練の実施 ・防災訓練を年2回実施 	総務
	校内の美化活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・美化委員会による清掃点検や呼びかけにより、校舎内を美しく保つ意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ごみの分別・削減・環境を守る行動をしている」と答える生徒の割合：85% 	保健
	感染症の予防	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症から身を守る意識の徹底 ・毎日の健康観察・手洗い・手指消毒・換気の徹底 ・保健だよりの呼びかけを随時行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・「毎日の健康観察や手洗い・手指消毒・換気を行っている」と答える生徒の割合：85% 	保健
イ	100周年記念事業の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・総務部と同窓会、後援会、PTAが連携して記念行事を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当教員を配置し、100周年委員会との連絡を密に行い、各機関と学校の連携を強める。 	総務
ウ	制服の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・2023委員会で生徒指導部と連携し理想の制服について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・女子のスラックスを導入する。 ・生徒募集につながる新制服のイメージ作成 	2023 生徒
エ	BYODによるICTを活用した授業の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・学習効果を上げるICT機器活用法の確立と円滑なBYODの導入・活用法を確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器の活用を目指す。 ・研修会を5回以上実施する。 	教務 DX
	HP、広報活動による本校にふさわしい優秀な生徒募集の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・学校webページへの記事掲載を充実させる。 ・生徒の活動の情報発信を活発にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・探究活動、SSH、学校行事、部活動等の記事を週1回のペースで更新する。 	DX
オ	主体的、対話的で深い学び、アクティブラーニングの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的、対話的で深い学びを意識した授業実践の充実を図る。 ・生徒による授業評価を実施し、状況の客観的把握に基づいた授業改善を図る。 ・適切な課題の在り方を研究する。 ・校内での授業交流や他校の研究授業等、様な研修機会を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員が講義形式に依らない授業展開の工夫を実践する。(各自学期に1回以上) ・「課題の設定時間が適切である」と答える教員の割合：80% ・年間2回以上、校内外の他の教員の授業を見学した教員の割合：70% 	研修 教務 全職員
	4校合同研修会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・他校での研究授業や講演内容等の研修機会を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3教科以上の参加教員による研修内容を各教科・分掌で共有する。 	研修
カ	SSH新制度の研究	<ul style="list-style-type: none"> ・次期SSH申請に向けた新制度（先導的改革型、認定枠）の情報収集 ・次期SSH採択に向け、教育課程の編成を研究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新制度指定を受けた先進校への視察 ・収集した情報を反映したプログラムの完成 ・先導的改革型及び認定枠指定校の教育課程を参考に、教育課程の研究を行う。 	SSH 教務

様式第1号

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
	SSH活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> SSH活動の中核となる課題研究の充実 新教育課程における課題研究プログラムの完成 各種発表会、コンテストへの参加 不思議実験講座等の普及活動の充実 国立遺伝学研究所への訪問 	<ul style="list-style-type: none"> 「課題研究を中心としたSSH活動は有意義である」と答える生徒の割合：80% 不思議実験講座受講後、「理科がより好きになった」中学生の回答：3.5点（4点中） 国立遺伝学研究所訪問（実施できない場合は代替行事）は有意義だった」と答える生徒の割合：80% 	SSH
キ	欠席、遅刻、早退の減少	<ul style="list-style-type: none"> 出欠統計調査を行い、過年度との比較を行う。 睡眠時間を最低6時間は確保させ、授業や学習に集中できる生活習慣を整えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 欠席数が過年度平均の8割以下となることを目指す 「一年を通して、睡眠時間を平均6時間以上確保できた」と答える生徒の割合：70% 	教務生徒学年
	メンタル問題による不登校、転退学の減少	<ul style="list-style-type: none"> グループエンカウンターにより、初期段階での人間関係のつまづきをなくす。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校生活に満足している」と答える生徒の割合：85% 	保健学年
	部活動の充実、成績の向上	<ul style="list-style-type: none"> 効率の良い部活動運営 外部人材の活用、「清高健児を応援する会」による適切な部活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> 全国大会5部活、県大会10部活出場 「部活動が充実している」と答える生徒の割合：80% 	生徒
ク	探究活動の研究	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な探究の時間「清高未来学」及び学校設定教科「スーパーサイエンス」の検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 文理選択やキャリア教育へと繋がる指導計画と評価法の立案を目指し、3年次の指導計画を完成する。 	探究
	基礎学力の定着（校内学力試験の利用）	<ul style="list-style-type: none"> 新しい学習指導要領に沿った観点別の学習評価方法を完成させる。 テスト実施後の個票返却を通じた振り返りの活動支援 多様な生徒のレベルに確実に対応出来るための教員の授業力向上 全学年での英数国週テスト実施 特指、土曜講座等の適切な実施 校外模試の教員による分析会の推進 校外模試の生徒による振り返りの支援 外部教育機関の職員研修への参加促進 	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の評価結果について分析をする。 テスト返却1週間後の個票返却 「授業が分かりやすい」と答える生徒の割合：85% 「指導のレベルに満足している」と答える生徒の割合：90% 	教務進路
	読解力をつける	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書の時間の設定 各学年での読書の推奨、朝読書の活用 授業交流や各種研修の実施を通して授業改善を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「年間5冊以上の読書を行う」と答える生徒の割合：70% 「生徒の読解力が伸びた」と答える教員の割合：70% 	図書研修学年
	個に合った適切な進路指導、進路面談の充実	<ul style="list-style-type: none"> 新しい学力観や新テストの導入など高大接続の現状に対応した情報の発信 情報収集やデータ分析の生徒・職員への提示 進路目標を具体化するための大学訪問の実施 オープンキャンパスへの参加奨励 年間3回以上の面談を行い、進路実現を促す。 新旧担任連絡会の実施 卒業生と語る会の実施 予備校ガイダンスの実施 校内進路検討会の年2回の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 進路に関する保護者会を実施。目標参加率：80% オープンキャンパスへの2年次までの参加：90% 「進路実現に向けての1年間の自身の取組に満足している」と答える生徒の割合：70% 「新旧担任連絡会や校内進路検討会が進路指導に役立った」と答える教員の割合：80% 「卒業生と語る会・予備校ガイダンスが進路指導に役立った」と答える生徒の割合：80% 	進路理数科SSH学年

様式第1号

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
		<ul style="list-style-type: none"> ・進路講演会の実施 ・進路目標を意識するよう目標点を設定した校外模試、ハイレベル模試の実施 ・プロフェッショナルと語る会の実施 ・SSH活動を通じた社会貢献の意識の育成 ・何をどのように学ぶかを考える機会として理数科では東大訪問を実施し、個々の進路実現につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「進路講演会が生徒や保護者の進路理解に役立った」と答える教員の割合：80% ・「プロフェッショナルと語る会は有意義だった」と答える生徒の割合：80% ・「将来の進路について考えている」と答える生徒の割合：80% ・「東大訪問（実施できない場合は代替行事）は意義があった」と答える生徒の割合：75% 	
	個の実力にあった文理選択（1年生）	<ul style="list-style-type: none"> ・自己を的確に理解し、個に応じた進路目標を確立させる。 ・難関大志望者の意識を高める。 ・適性検査、進路希望調査、受験科目調べを行う。 ・「進路ノート」「進学資料」「合格体験記アプローチ」「最新大学情報」の活用 ・進路ノートの1冊化を進め、3年間を見通した進路指導を行う。 ・計画的な文理選択の方法の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校で発行された『進路ノート』、『進学資料』、『合格体験記アプローチ』、『最新大学情報』は進路を考えるうえで参考になった」と答える生徒の割合：75% ・不本意な選択となる生徒を出さない指導を行う。 	教務 進路 学年
ケ	あいさつの励行	<ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒が日常的に気持ちよくあいさつをする。 ・各学期1回あいさつ運動実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「近所の人や知り合いにあいさつしている」と答える生徒の割合：90% 	生徒 学年 全職員
	生徒会活動、ボランティア活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の生徒による自主的運営と地域との連携を図る。 ・各部活動単位でのボランティア活動への参加呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校祭に満足した」と答える生徒の割合：80% ・各部活動で1回以上ボランティア活動を実施した割合：80% 	生徒
	研究旅行の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・普通科：日本文化の理解を深め、国際交流も取り入れる。班別研修では生徒が主体的に計画し行動する。 ・理数科：科学技術施設を取り入れたコースを作る。班別研修では生徒が主体的に計画し行動する。 ・2024年度海外研究旅行実施に向けて研修内容の検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「充実した研究旅行になった」と答える生徒の割合：80% ・海外研修旅行のプラン作成 	学年 理数科
コ	休暇取得促進日の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・8月21日(月)から23日(水)を休暇取得促進日として、土日を含めて職員の休暇を取りやすく設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休暇取得促進日に休暇を取得できる職員の割合が90%以上 	管理職 全職員
	業務の見直し、スクラップの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの環境整備を推進し、業務の効率化やペーパーレスの推進・牽引を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷紙の使用量1割減を目指す。 ・19:30以降残留する職員が減少するように業務の割り振りを改善する。 	管理職 全分掌 全学年
サ	事務室運営の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な事務処理を目指した業務改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1件以上の業務改善実施 	事務
	法令順守の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的で効果的な予算執行の実施 ・学校徴収金等事務処理基準に沿った業務処理を行う。 ・個人情報の適正な管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物品（修繕）要求書提出の徹底とすみやかな会計処理を行う。 ・学年費等の決算報告書類等は、わかりやすい文書の作成に努め、残金等は迅速な返金処理等を行う。 ・個人情報の適正な保管により紛失及び漏洩事故ゼロ 	事務 全学年

様式第1号

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当 部署
	安全安心な教育 環境の維持	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な校内施設の点検を行う。 校舎解体工事は、学校運営と工事進捗の調和を図りながら、安全な教育環境を維持する。 	<ul style="list-style-type: none"> 月2回以上の施設点検と法令点検指摘箇所のすみやかな改修を行う。 解体工事にかかる騒音等の対応について、的確な校内調整を図る。 	事務

（記入上の留意点）

具体的な重点項目が外部の方にもわかりやすいよう、工夫して記載すること。